



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 豊田市立逢妻中学校 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	全校生徒 900名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (学級活動) ② 行事名 (学校行事「オリンピック・パラリンピック教育講演会」) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピック、パラリンピックについて学んだり、オリンピックやパラリンピックの話を知ったりすることで、2020年東京大会への関心を高めるとともに、目標に向かって努力することの大切さを学ぶ機会とする。
5 取組内容	(1) 学級活動における実践 国際パラリンピック委員会公認教材『I'm POSSIBLE』を使用し、パラリンピックの意義や歴史等について学ぶ。 <DVDを視聴する様子>  <資料をもとに話し合う様子>  (2) 「オリンピック・パラリンピック教育講演会」における実践 ○トヨタ自動車所属のパラリンピック選手、佐藤圭太氏を講師に迎え、全校生徒参加による教育講演会を開催。 ○前半は、自身の障がいやパラリンピックについての話、後半は代表生徒の質問に答える形で実施。

<「オリンピック・パラリンピック教育講演会」の様子>



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック陸上競技で活躍している佐藤氏を講師に招き、自身の障がいのことを話していただいたり、義足を使って実際に走る姿を見せていただいたりしたことで、パラリンピックに対する生徒たちの関心を高めることができた。 ・映像やクイズなどが用意されている、国際パラリンピック委員会公認教材『I'm POSSIBLE』を使用したことで、生徒たちが楽しみながらパラリンピックの意義や歴史等について学ぶことができた。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○パラリンピックへの関心を高めるために、実際にパラリンピックで活躍している地元企業の選手を講師に招いて講演会を行った。 ○パラリンピック選手に対する興味・関心をもたせるために、講演会の中で講師が義足をつけて走る場面や生徒が質問する場面を設定した。 ○生徒がパラリンピックを身近なものとして考えることができるように、講演会の前後でパラリンピックに関する学級活動を行った。 ○学級担任が事前準備の負担なく、すぐに授業を実施することができるように、映像資料や座学用の授業案が用意されているパラリンピック委員会公認教材『I'm POSSIBLE』を使用した。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒対象の講演会としたことで、時間やスペースに制約があり、パラリンピアンと直接ふれあう場面を設定することができなかった。 ・パラリンピック委員会公認教材『I'm POSSIBLE』が1セットしかなかったため、複数のクラスで授業を行うことができなかった。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では未定